



2021年3月期 第2四半期決算短信(日本基準)(連結)

2020年10月30日

上場会社名 株式会社 プレステージ・インターナショナル
 コード番号 4290 URL <http://www.prestigein.com/>

上場取引所 東

代表者 (役職名) 代表取締役 (氏名) 玉上 進一

問合せ先責任者 (役職名) 常務執行役員 (氏名) 中山 克哉

TEL 03-5213-0826

四半期報告書提出予定日 2020年11月13日 配当支払開始予定日 2020年12月4日

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有

四半期決算説明会開催の有無 : 有 (当社ウェブサイトにて決算説明の動画開示予定)

(百万円未満切捨て)

1. 2021年3月期第2四半期の連結業績(2020年4月1日～2020年9月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2021年3月期第2四半期	19,739	4.6	2,611	8.0	2,629	1.3	1,558	16.2
2020年3月期第2四半期	20,688	15.6	2,417	20.7	2,595	19.3	1,340	7.8

(注) 包括利益 2021年3月期第2四半期 1,824百万円 (40.5%) 2020年3月期第2四半期 1,298百万円 (28.7%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
2021年3月期第2四半期	12.17	12.10
2020年3月期第2四半期	10.48	10.40

当社は、2019年10月1日付で普通株式1株につき2株の割合で株式分割を行っております。前連結会計年度の期首に当該株式分割が行われたと仮定し、1株当たり四半期純利益及び潜在株式調整後1株当たり四半期純利益を算定しております。

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2021年3月期第2四半期	43,063	31,305	68.4
2020年3月期	42,891	29,901	65.9

(参考) 自己資本 2021年3月期第2四半期 29,453百万円 2020年3月期 28,251百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2020年3月期		7.00		3.50	
2021年3月期		3.50			
2021年3月期(予想)				3.00	6.50

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

当社は、2019年10月1日付で普通株式1株につき2株の割合で株式分割を行っております。そのため、2020年3月期における期末配当金については、当該株式分割の影響を考慮して記載しております。

3. 2021年3月期の連結業績予想(2020年4月1日～2021年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	43,000	1.5	5,200	4.9	5,300	2.1	3,400	6.5	26.55

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
- | | |
|--------------------|-----|
| 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 | : 無 |
| 以外の会計方針の変更 | : 無 |
| 会計上の見積りの変更 | : 無 |
| 修正再表示 | : 無 |

(4) 発行済株式数(普通株式)

期末発行済株式数(自己株式を含む)	2021年3月期2Q	128,054,600 株	2020年3月期	128,036,200 株
期末自己株式数	2021年3月期2Q	708 株	2020年3月期	708 株
期中平均株式数(四半期累計)	2021年3月期2Q	128,042,025 株	2020年3月期2Q	127,939,390 株

当社は、2019年10月1日付で普通株式1株につき2株の株式分割を行っております。前連結会計年度の期首に当該株式分割が行われたと仮定して期末発行済株式数(自己株式を含む)及び期末自己株式数並びに期中平均株式数(四半期累計)を算定しております。

四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

(将来に関する記述等についてのご注意)

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、当社としてその実現を約束する趣旨のものではありません。実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

(決算補足説明資料の入手方法について)

決算補足説明資料は2020年10月30日(金)に当社ウェブサイトに掲載いたします。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	4
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	5
(1) 四半期連結貸借対照表	5
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	7
四半期連結損益計算書	
第2四半期連結累計期間	7
四半期連結包括利益計算書	
第2四半期連結累計期間	8
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書	9
(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	11
(継続企業の前提に関する注記)	11
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	11

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第2四半期(2020年7月1日~2020年9月30日)における当社グループを取り巻く経済環境において、世界的には、新型コロナウイルス感染症の拡大はピークアウトしたものの、引き続き流行が続くなか、一部では経済活動規制や自粛ムードの高まりがあり、回復ペースは緩慢であります。国内では、活動制限緩和を受けて持ち直しに向かうものの、引き続き3密回避など感染対策の継続が必要なことから、回復ペースは緩やかになると予想されます。

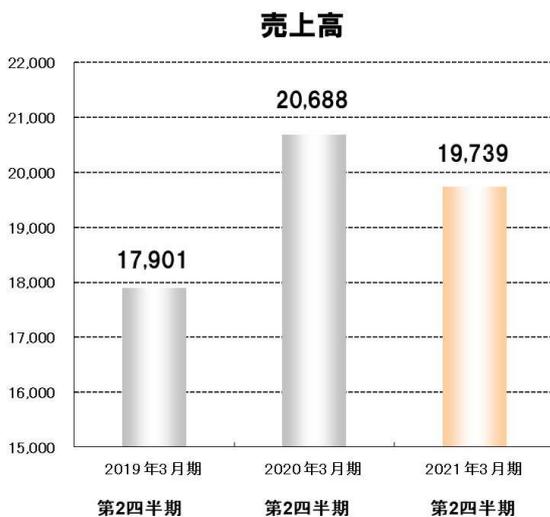
このような環境の下、社会・経済活動の在り方に変化が生じ、これまで当たり前と考えられてきた行動が変容しました。

当社グループの特徴である地方都市のBPO拠点設置により、安定した事業を継続しておりますが、「PIでしか実現できないサービス」を創造するためには、大胆な構造改革を行っていく必要があると考えております。当社グループが変化に対応するべく、本社機能の拠点移管を進めることが事業安定に資すると判断し、実行に移すことでクライアント企業からの業容拡大及び有事の業務継続計画への対応が出来ると共に、更に強固な経営基盤を構築できるものと考えております。

2020年5月に富山トレーニングフィールドが開設し、2021年3月には山形BPOパーク、そして、2022年3月には秋田BPOにかほキャンパスを開設する予定であります。地方都市での若年層の流出による人口減という社会的問題を解決するべく拠点を増やすことにより、点から面で採用できるようになり、優秀な人材の獲得を継続してまいります。

当第2四半期の連結売上高に関しましては、主にオートモーティブ事業とグローバル事業が新型コロナウイルス感染症の影響を受け、19,739百万円(前年同期比4.6%減)となりました。営業利益に関しましては、コストコントロールを徹底した結果、グループ全体としては2,611百万円(前年同期比8.0%増)となりました。経常利益に関しましては、前年同期比と同水準に回復し、2,629百万円(前年同期比1.3%増)となりました。この結果、親会社株主に帰属する四半期純利益は、1,558百万円(前年同期比16.2%増)となりました。

	前第2四半期	当第2四半期	参考 前連結会計年度
売上高	20,688百万円	19,739百万円	(前年同期比 4.6%減、 949百万円減) 42,377百万円
営業利益	2,417百万円	2,611百万円	(前年同期比 8.0%増、 193百万円増) 4,959百万円
経常利益	2,595百万円	2,629百万円	(前年同期比 1.3%増、 34百万円増) 5,364百万円
親会社株主に帰属する 四半期純利益	1,340百万円	1,558百万円	(前年同期比 16.2%増、 217百万円増) 3,193百万円
1株当たり四半期純利益	10.48円	12.17円	24.95円



当社では今期より事業区分を変更しております。

前期の比較については、同じ基準で前期の実績を置き換えた数値との比較となっております。

● オートモーティブ事業

主に損害保険会社や自動車メーカー向けロードサービスを提供しているオートモーティブ事業は、国内における活動自粛の影響を受け、減収となりました。

営業利益につきましては、コストコントロールを徹底した結果、増益となりました。

	前第2四半期	当第2四半期
売上高	10,252百万円	9,628百万円
営業利益	1,249百万円	1,419百万円
(増減)	(金額)	(率)
売上高	-624百万円	-6.1%
営業利益	+169百万円	+13.6%

● プロパティ事業

分譲・賃貸マンション・戸建ての占有部の一次修繕とコインパーキングのメンテナンスを提供するプロパティ事業は、主に不動産向けサービス(ホームアシスト)における既存受託業務の成長により、増収となりました。

営業利益につきましては、先行投資が一巡し、増益となりました。

	前第2四半期	当第2四半期
売上高	2,535百万円	2,613百万円
営業利益	225百万円	280百万円
(増減)	(金額)	(率)
売上高	+77百万円	+3.1%
営業利益	+55百万円	+24.6%

● グローバル事業

海外旅行保険のクレームエージェント、駐在員向けの医療サポート業務(ヘルスケア・プログラム)、クレジットカードの発行BPO業務を行うグローバル事業は、新型コロナウイルス感染症の影響により海外渡航者の減少、クレジットカード利用額の減少等の影響を受け、減収減益となりました。

	前第2四半期	当第2四半期
売上高	3,094百万円	2,296百万円
営業利益	494百万円	198百万円
(増減)	(金額)	(率)
売上高	-797百万円	-25.8%
営業利益	-296百万円	-59.9%

● カスタマー事業

国内のカスタマーコンタクトサービスなどを展開しているカスタマーサポート事業は、既存受託業務の成長により、増収となりました。

営業利益につきましては、不採算案件の解消により、増益となりました。

	前第2四半期	当第2四半期
売上高	2,202百万円	2,476百万円
営業利益	82百万円	263百万円
(増減)	(金額)	(率)
売上高	+273百万円	+12.4%
営業利益	+181百万円	+219.0%

● 総合保証事業

保証に関するサービスを提供している総合保証事業は、グループ会社である株式会社イントラストが経営する総合保証プログラムが堅調に推移し、増収増益となりました。

	前第2四半期	当第2四半期
売上高	2,073百万円	2,198百万円
営業利益	538百万円	544百万円
(増減)	(金額)	(率)
売上高	+125百万円	+6.1%
営業利益	+6百万円	+1.2%

● IT事業

ITソリューション事業におきましては、前期開発案件が一巡し、減収減益となりました。

	前第2四半期	当第2四半期
売上高	347百万円	222百万円
営業利益	70百万円	56百万円
(増減)	(金額)	(率)
売上高	-124百万円	-36.0%
営業利益	-13百万円	-19.4%

● ソーシャル事業

女子スポーツチーム、保育事業、通所介護・発達障害児童支援等のサービスを中心としたソーシャル事業では、発達障害児支援プログラムでの会計処理の影響がなくなり、売上高は増収、営業利益は赤字幅が縮小となりました。

	前第2四半期	当第2四半期
売上高	182百万円	302百万円
営業利益	-244百万円	-146百万円
(増減)	(金額)	(率)
売上高	+120百万円	+66.0%
営業利益	+98百万円	+40.1%

(2) 財政状態に関する説明

[財政状況]

当第2四半期末における総資産は、43,063百万円となり前連結会計年度末に比べ171百万円増加となりました。流動資産は、現金及び預金が982百万円減少、流動資産のその他が783百万円減少し、前連結会計年度末に比べ、2,302百万円減少しております。また固定資産は、有形固定資産のその他(純額)が、766百万円増加、投資有価証券が1,005百万円増加し、前連結会計年度末に比べ2,474百万円増加しております。

負債に関しましては、流動負債の未払法人税等が533百万円減少、流動負債のその他が488百万円減少いたしました。これらにより負債合計では前連結会計年度末より1,231百万円減少し、11,758百万円となりました。

また、純資産については、配当の支払いが2020年6月に発生いたしました。親会社株主に帰属する四半期純利益が、1,558百万円であったため前連結会計年度末に比べ1,403百万円増加しております。

[キャッシュ・フローの状況]

(営業活動によるキャッシュ・フロー)

当第2四半期連結累計期間における営業活動によるキャッシュ・フローは、2,111百万円の収入(前年同期比13.5%減)となりました。主なプラス要因としては、税金等調整前四半期純利益が2,638百万円等であり、主なマイナス要因としては、仕入債務が244百万円等であります。

(投資活動によるキャッシュ・フロー)

当第2四半期連結累計期間における投資活動によるキャッシュ・フローは、2,399百万円の支出(前年同期比19.5%増)となりました。主な要因は、有形及び無形固定資産の取得による支出1,994百万円等によるものであります。

(財務活動によるキャッシュ・フロー)

当第2四半期連結累計期間における財務活動によるキャッシュ・フローは、627百万円の支出(前年同期比3.4%減)となりました。主な要因は、長期借入金の返済による支出が125百万円、配当金の支払額が447百万円等によるものであります。

以上の結果、当第2四半期末における現金及び現金同等物の残高は、16,087百万円(前年同期比8.2%増)となりました。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2020年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (2020年9月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	17,089,133	16,106,429
受取手形及び売掛金	4,516,904	3,856,810
商品及び製品	31,951	41,654
仕掛品	—	77,790
原材料及び貯蔵品	31,995	85,187
その他	6,607,479	5,823,571
貸倒引当金	△575,570	△592,138
流動資産合計	27,701,893	25,399,306
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	7,257,504	7,848,033
その他(純額)	1,641,128	2,407,305
有形固定資産合計	8,898,632	10,255,338
無形固定資産		
その他	1,160,294	1,279,742
無形固定資産合計	1,160,294	1,279,742
投資その他の資産		
投資有価証券	4,385,863	5,391,689
その他	811,650	803,685
貸倒引当金	△66,516	△65,964
投資その他の資産合計	5,130,997	6,129,409
固定資産合計	15,189,924	17,664,490
資産合計	42,891,817	43,063,797

(単位:千円)

	前連結会計年度 (2020年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (2020年9月30日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	1,327,826	1,073,744
短期借入金	350,000	350,000
未払法人税等	1,421,337	888,089
賞与引当金	654,055	729,259
資産除去債務	11,378	—
保証履行引当金	85,592	73,316
その他	7,288,508	6,799,905
流動負債合計	11,138,699	9,914,314
固定負債		
長期借入金	500,000	375,000
退職給付に係る負債	3,613	4,494
資産除去債務	1,146,416	1,193,239
その他	201,221	271,444
固定負債合計	1,851,251	1,844,179
負債合計	12,989,950	11,758,493
純資産の部		
株主資本		
資本金	1,494,958	1,496,339
資本剰余金	2,765,437	2,765,619
利益剰余金	23,489,887	24,599,129
自己株式	△248	△248
株主資本合計	27,750,035	28,860,840
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	212,011	359,428
為替換算調整勘定	289,203	233,443
その他の包括利益累計額合計	501,215	592,871
新株予約権	111,285	153,465
非支配株主持分	1,539,331	1,698,126
純資産合計	29,901,867	31,305,303
負債純資産合計	42,891,817	43,063,797

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

(四半期連結損益計算書)

(第2四半期連結累計期間)

(単位:千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2019年4月1日 至 2019年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2020年4月1日 至 2020年9月30日)
売上高	20,688,764	19,739,429
売上原価	16,339,509	15,264,936
売上総利益	4,349,255	4,474,492
販売費及び一般管理費	1,931,388	1,863,078
営業利益	2,417,866	2,611,414
営業外収益		
受取利息	6,404	2,851
有価証券利息	53,001	62,991
受取配当金	4,996	5,617
持分法による投資利益	27,227	6,324
為替差益	106,631	—
その他	17,337	17,300
営業外収益合計	215,599	95,086
営業外費用		
支払利息	1,136	1,065
為替差損	—	31,743
障害者雇用納付金	17,400	18,868
消費税等調整額	—	18,113
その他	19,581	6,812
営業外費用合計	38,117	76,603
経常利益	2,595,348	2,629,897
特別利益		
固定資産売却益	1,846	8,220
その他	—	1,475
特別利益合計	1,846	9,695
特別損失		
固定資産売却損	3,467	67
固定資産圧縮損	—	1,475
事業撤退損	150,048	—
その他	—	0
特別損失合計	153,516	1,542
税金等調整前四半期純利益	2,443,678	2,638,049
法人税、住民税及び事業税	927,668	880,266
法人税等調整額	28,290	28,738
法人税等合計	955,959	909,005
四半期純利益	1,487,718	1,729,044
非支配株主に帰属する四半期純利益	147,331	171,027
親会社株主に帰属する四半期純利益	1,340,386	1,558,017

(四半期連結包括利益計算書)

(第2四半期連結累計期間)

(単位:千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2019年4月1日 至 2019年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2020年4月1日 至 2020年9月30日)
四半期純利益	1,487,718	1,729,044
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	40,916	150,967
為替換算調整勘定	△230,161	△55,760
その他の包括利益合計	△189,245	95,206
四半期包括利益	1,298,472	1,824,251
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	1,154,157	1,649,673
非支配株主に係る四半期包括利益	144,314	174,578

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位:千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2019年4月1日 至 2019年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2020年4月1日 至 2020年9月30日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純利益	2,443,678	2,638,049
減価償却費	534,144	528,190
貸倒引当金の増減額(△は減少)	10,232	15,873
賞与引当金の増減額(△は減少)	66,843	75,149
保証履行引当金の増減額(△は減少)	742	△12,276
受取利息及び受取配当金	△64,402	△71,460
有形及び無形固定資産売却損益(△は益)	1,621	△8,152
支払利息	1,136	1,065
為替差損益(△は益)	△277,451	39,808
持分法による投資損益(△は益)	△27,227	△6,324
補助金収入	—	△1,475
固定資産圧縮損	—	1,475
固定資産除却損	1,619	5,851
事業撤退損	150,048	—
売上債権の増減額(△は増加)	△782,837	655,443
たな卸資産の増減額(△は増加)	△34,681	△140,647
その他の資産の増減額(△は増加)	△491,901	362,883
仕入債務の増減額(△は減少)	153,839	△244,861
その他の負債の増減額(△は減少)	811,955	756,552
未払消費税等の増減額(△は減少)	659,617	△1,211,732
その他	65,246	49,349
小計	3,222,224	3,432,762
法人税等の支払額	△844,637	△1,397,497
利息及び配当金の受取額	65,429	77,300
利息の支払額	△2,289	△1,064
営業活動によるキャッシュ・フロー	2,440,727	2,111,500

(単位:千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2019年4月1日 至 2019年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2020年4月1日 至 2020年9月30日)
投資活動によるキャッシュ・フロー		
有形及び無形固定資産の取得による支出	△2,012,843	△1,994,706
有形及び無形固定資産の売却による収入	81,825	8,589
投資有価証券の取得による支出	△200,000	△786,326
貸付けによる支出	△4,250	△6,527
貸付金の回収による収入	2,399	4,767
差入保証金の差入による支出	△22,708	△19,732
差入保証金の回収による収入	35,657	9,729
補助金の受取額	113,297	387,267
定期預金の預入による支出	△58	△13,908
定期預金の払戻による収入	—	46,259
その他	△1,425	△34,832
投資活動によるキャッシュ・フロー	△2,008,106	△2,399,422
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入金の返済による支出	△50,000	—
長期借入金の返済による支出	△125,000	△125,000
自己株式の取得による支出	△40	—
配当金の支払額	△447,109	△447,875
非支配株主への配当金の支払額	△35,878	△50,307
リース債務の返済による支出	△4,181	△16,085
ストックオプションの行使による収入	11,819	11,370
子会社の自己株式の取得による支出	△44	—
財務活動によるキャッシュ・フロー	△650,436	△627,898
現金及び現金同等物に係る換算差額	68,408	△83,846
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	△149,406	△999,665
現金及び現金同等物の期首残高	15,006,567	17,036,941
新規連結に伴う現金及び現金同等物の増加額	—	50,411
現金及び現金同等物の四半期末残高	14,857,161	16,087,687

(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。